

線上償還に伴う経営改革促進効果

2 年度別目標等

(5) 下水道事業

区分	目標又は実績	平成14年度 (計画前5年度) (決算)	平成15年度 (計画前4年度) (決算)	平成16年度 (計画前3年度) (決算)	平成17年度 (計画前々年度) (決算)	平成18年度 (計画前年度) (決算見込)	計画前5年間 実績	平成19年度 (計画初年度)	平成20年度 (計画2年度)	平成21年度 (計画3年度)	平成22年度 (計画4年度)	平成23年度 (計画5年度)	計画合計	
収入の確保	① 処理区域内人口(人)	317,534	326,149	331,340	343,790	355,092		367,443	373,866	378,766	385,666	393,466		
	A 増減	8,403	8,615	5,191	12,450	11,302	45,961	12,351	6,423	4,900	6,900	7,800	38,374	
	水洗便所設置済人口(人)	293,270	301,699	301,988	308,799	319,817		332,930	340,218	344,677	350,956	358,054		
	B 増減	6,520	8,429	289	6,811	11,018	33,067	13,113	7,288	4,459	6,279	7,098	38,237	
	水洗化率(%)	92.4	92.5	91.1	89.8	90.1		90.6	91.0	91.0	91.0	91.0		
	C 増減	▲0.4	0.1	▲1.4	▲1.3	0.3	▲2.7	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
	有収水量(m ³)	33,623,903	33,937,520	34,609,066	35,199,264	36,280,119		37,424,598	38,042,104	38,669,799	39,307,951	39,956,431		
	D 増減	294,293	313,617	671,546	590,198	1,080,855	2,950,509	1,144,479	617,506.0	627,695.0	638,052.0	648,580.0	3,676,312	
	② 使用料単価(円/m ³) (使用料収入/有収水量)	1107	128.4	135.5	147.1	147.0		145.9	146.3	146.4	146.5	146.5		
	E 増減	17.7	▲0.8	7.9	11.6	▲0.1	36.3	▲1.1	0.4	0.1	0.1	0.0	▲0.5	
③ 料金改定率(%) (料金改定実施年度に記載)			16.0	16.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
F 増減	▲32.0	0.0	16.0	▲16.0	0.0	▲32.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
④ 収納率(%)	98.1	97.7	97.8	97.9	97.9		97.7	98.0	98.0	98.0	98.0			
G 増減	0.1	▲0.4	0.1	0.1	0.0	▲0.1	▲0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1		
④ その他()														
H 増減														
経営の効率化	⑤ 職員1人当たりの営業収益(千円)	54,712	53,363	58,134	65,066	73,543		77,885	95,498	101,087	109,533	119,819		
	増減	11,101	42,262	15,872	49,194	24,349	142,778	4,342	17,613	5,589	8,446	10,286	46,278	
	職員数(人)	111	113	108	105	96		92	73	70	65	60		
	増減	▲13	2	▲5	▲3	▲9	▲28	▲4	▲19	▲3	▲5	▲5	▲36	
	管理運営費(千円)	10,316,937	10,600,023	10,317,598	10,752,698	11,123,354		11,044,883	10,511,693	10,361,809	10,240,525	10,308,178		
	I 増減	273,365	283,086	▲282,425	435,100	370,656	1,079,782	▲78,471	▲533,190	▲149,884	▲121,284	67,653	▲815,176	
	⑤ 処理区域内人口1人当たりの管理運営費(千円) (I/A)	32,491	32,501	31,139	31,277	31,325		30,059	28,116	27,357	26,553	26,198		
	J 増減	▲422	10	▲1,362	138	48	▲1,588	▲1,266	▲1,943	▲759	▲804	▲355	▲5,127	
	⑤ 汚水処理原価(円/m ³) (汚水処理経費/有収水量)	233.6	239.2	225.7	232.7	233.6		227.2	219.5	210.9	208.7	208.1		
	K 増減	1.3	5.6	▲13.5	7.0	0.9	1.3	▲6.4	▲7.7	▲8.6	▲2.2	▲0.6	▲25.5	
⑤ 汚水処理原価(維持管理費)(円/m ³) (汚水処理経費(維持管理費)/有収水量)	72.7	75.0	61.4	64.2	60.9		61.9	58.4	56.7	55.3	53.0			
L 増減	▲2.7	2.3	▲13.6	2.8	▲3.3	▲14.5	1.0	▲3.5	▲1.7	▲1.4	▲2.3	▲7.9		
⑥ その他()														
M 増減														
経営の効率化	使用料回収率(%) (E/K×1,000)	55.0	53.3	60.0	63.2	62.9		64.2	66.7	69.4	70.2	70.4		
	増減	7.3	▲1.7	6.7	3.2	▲0.3		1.3	2.5	2.7	0.8	0.2		
	累積欠損金比率(%)													
企業債現在高(百万円)	103,090	102,709	104,438	104,483	103,848		102,175	100,631	98,444	96,170	93,605			
増減	644	▲381	1,729	45	▲635		▲1,673	▲1,544	▲2,187	▲2,274	▲2,565			
収入の確保	使用料収入	4,319	4,331	4,689	5,176	5,332		5,460	5,485	5,578	5,673	5,768		
	改善額	33	45	403	895	1,050	2,426	128	153	246	341	436	1,304	
	①有収水量の増加	33	45	131	216	371	796	128	153	246	341	436	1,304	
	②使用料の適正化	0	0	272	679	679	1,630	0	0	0	0	0	0	
	③収納率の向上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他④(未利用地の売却)	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	21	
改善額	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	21		
経営の効率化	管理運営費	10,317	10,600	10,318	10,753	11,123		11,045	10,531	10,344	10,223	10,290		
	うち職員給与費中の退職手当を除いたもの	1,006	958	902	862	796		744	613	588	545	504		
	改善額	97	145	201	241	307	991	52	183	208	251	292	986	
	⑤職員給与費の適正化	97	145	201	241	307	991	52	183	208	251	292	986	
	維持管理費(上記以外)の適正化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	うち職員給与費中の退職手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他⑥()	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
改善額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計画前5年間改善額 合計							3,417	改善額 合計					2,311	

○計画前年度において使用料単価150円/m³(20m²当たり3,000円)未満(処理原価が150円/m³未満の場合は処理原価未満)の事業にあっては、下記に使用料適正化の考え方を記載し、当該適正化による増収額を②に記載すること。

○「収入の確保」その他④の例:未利用地の売却、資産の有効利用(用地等の貸付)、再生水の販売収入など(記入単位は百万円とするが、会計規模により千円単位でも可とする。)

○「経営の効率化」その他⑥の例:建設コストの縮減(上下水共同施工の実施、工法の見直し、技術開発の促進など。建設改良費の抑制は除く。)、電気・機械設備等の計画的修繕による長寿命化など(記入単位は百万円とするが、会計規模により千円単位でも可とする。)

(参考) 補償金免除額 1,644

(収入の確保及び経営の効率化に向けた取組みについて)

- 使用料適正化の考え方 計画前5年間の使用料収入の改善額については、平成13年度に実施した使用料改定分は控除している。また、計画5年間については、水洗化率向上の取組み及び内部経費の削減に努め、将来的な使用料改定に向けて内外に協力を求めていくものである。
- 民間委託の取組状況 平成20年度より、雨水ポンプ場の維持管理を民間委託としていくため、準備を進めている。
- その他に記載された項目に関する取組等 廃止した下水道施設の跡地で未利用とされる土地については、積極的に売却していく。